

平成 20(2008) 年度

高分子科学専攻 セミナー

授業概要(シラバス)

2008 年 4 月 18 日

大阪大学大学院理学研究科

目次

1 高分子科学専攻 前期課程	3
高分子合成化学セミナー	4
高分子精密合成セミナー	5
高分子錯体化学セミナー	6
無機高分子化学セミナー	7
超分子科学セミナー	8
高分子固体科学セミナー	9
高分子構造論セミナー	10
高分子物性論セミナー	11
高分子凝集論セミナー	12
高分子集合論セミナー	13
生体高分子X線解析学セミナー	14
情報高分子物性論セミナー	15
高分子科学インタラクティブセミナー	16
2 高分子科学専攻 後期課程	17
高分子合成化学特別セミナー	18
高分子錯体化学特別セミナー	19
高分子凝集論特別セミナー	20
高分子構造論特別セミナー	21
高分子物性論特別セミナー	22
超分子科学特別セミナー	23
情報高分子物性論特別セミナー	24
情報高分子構造論特別セミナー	25
高分子科学インタラクティブ特別セミナー	26
3 高分子科学専攻 後期課程 (秋季入学者用)	27
高分子錯体化学特別セミナー	28
超分子科学特別セミナー	29

1 高分子科学専攻 前期課程

1. 高分子科学専攻 前期課程

高分子合成化学セミナー

英語表記	Seminar in Synthetic Polymer Chemistry
授業コード	240618
単位数	9
指導教員	青島 貞人 居室： G602 電話： 5448 Email： aoshima[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	将来研究者として必要な種々の実験計画法、テクニック、ディスカッション、まとめ方、学会発表法などを習得させるとともに、自分の中で「研究とは何か」を考えさせる。また、修士論文作成に關しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	構造や分子量の制御された高分子を設計・合成する新しい戦略、方法を探索する。その中で、与えられた個々の課題に対していかにチャレンジするかを、教官とディスカッションしながら考える。また、学会発表や論文作成など研究のまとめ方や発表する方法を学ぶ。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	日頃の研究、学会発表、作成した論文の内容で評価する。
コメント	特になし。

高分子精密合成セミナー

英語表記	Seminar in Precision Polymer Synthesis
授業コード	240889
単位数	9
指導教員	金岡 鍾局 居室： G603 電話： 5450 Email： kanaoka[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子合成、特にリビング重合などを用いた精密合成に関連した先端研究に関して理解を深めるとともに、研究の進め方、考え方を習得することを目的とする。また、修士論文作成に際しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	種々の重合機構によるリビング重合、さらに、それらを用いて種々の形態を有し、構造が制御された機能性高分子を合成する戦略について説明する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究の進め方、講義および研究レポートで評価する。
コメント	

1. 高分子科学専攻 前期課程

高分子錯体化学セミナー

英語表記	Seminar in Macromolecule-metal Complex Chemistry
授業コード	240619
単位数	9
指導教員	山本 仁 居室：
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	無機および有機金属ポリマーや金属含有たんぱく質等の基礎を学習し、それらの反応機構について理解を深めた上で、具体的な研究の進め方、考え方、分析手法等について指導を行う。修士論文作成に際しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	無機および有機金属ポリマー、含金属たんぱく質、ペプチドの基礎 無機および有機金属ポリマー、含金属タンパク質、ペプチドの反応 無機および有機金属ポリマー、含金属ペプチドの設計・合成指針 光反応の基礎と応用 核磁気共鳴法による分析と構造解析
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	課題の理解度、目標の設定と達成度、出席等を総合的に評価する。
コメント	

無機高分子化学セミナー

英語表記	Seminar in Inorganic Polymer Chemistry
授業コード	240941
単位数	9
指導教員	岡村 高明 居室 : c441 電話 : 5451 Email : tokamura[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	金属酵素、金属蛋白質、高分子錯体などの基礎的な理解を深めながら、研究の計画、文献調査、実験、結果の解析とまとめ、学会での口頭発表、学術論文の作成などを通して、論理的な考え方、研究の進め方、成果発表の方法を習得させる。修士論文作成に際しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	金属酵素、金属蛋白質のモデル化合物、ペプチド、非天然型ペプチド、高分子錯体などの設計、合成、反応を行い、金属酵素の反応制御機構を明らかにすると共に新規機能性化合物の創成を目指す。また、酵素、蛋白質そのものの解析も行う。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究の計画と遂行、研究成果発表、習熟度等を総合的に評価する。
コメント	

1. 高分子科学専攻 前期課程

超分子科学セミナー

英語表記	Seminar in Supramolecular Science
授業コード	240942
単位数	9
指導教員	原田 明 居室： G713 電話： 06-6850-5445 Email： harada[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子科学の中で特に高分子特有の性質を利用した機能の発現について基礎的な理解を深めた上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文の作成に際しての指導と助言を行う。
履修条件	
講義内容	高分子の機能化に関する研究を行う。分子間での相互作用が多様である高分子の特徴を活かし、特異的な機能の発現をめざす。特異的な構造を有する超分子の形成やその機能化をテーマとした研究を実施し、その結果をまとめ、報告する方法を指導する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	レポート等を総合的に評価する。
コメント	

高分子固体科学セミナー

英語表記	Seminar in Polymer Solid-State Science
授業コード	240943
単位数	9
指導教員	金子 文俊 居室： G705 電話： 06-6850-5453 Email： toshi[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子と鎖状低分子の固体構造と物性に関する文献輪読・実験研究・理論研究を行う。高分子構造・物性ならびに研究手法の基礎からこの分野に関する最先端の研究まで理解させる。具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成に際しての指導、助言も行う。
履修条件	
講義内容	以下の点に関して基礎から最新の研究例まで学習する。 (1) 高分子や鎖状分子の固体状態の構造と物性 (2) 振動分光、X線回折、中性子散乱、NMR分光等の研究手法 さらに各学生の研究課題の進め方や結果について討論する。
授業計画	
教科書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表の内容で評価する。
コメント	

1. 高分子科学専攻 前期課程

高分子構造論セミナー

英語表記	Seminar in Polymer Structures
授業コード	240625
単位数	9
指導教員	奥山 健二 居室： G702 電話： 06-6850-5455 Email： okuyamak[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子構造に関連した研究分野の基礎的な理解を深めた上で、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成に際しての指導、助言も行う。
履修条件	
講義内容	高分子構造に関する先端的研究課題の指導、特に X 線回折法、構造解析法、構造-機能相関研究法、研究成果の発表法などについて指導する。
授業計画	
教科書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
成績評価	修士論文の研究を実施する中で総合的に評価する。
コメント	

高分子物性論セミナー

英語表記	Seminar in Physical Properties of Macromolecules
授業コード	240626
単位数	9
指導教員	井上 正志 居室：
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子物性論研究に必要な基礎的事項を先端的な研究を通じて理解し，具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う．修士論文の作成に際しての指導と助言も行う．
履修条件	
講義内容	レオロジー、誘電分散、レオオプティクス，電気複屈折等，高分子物性の研究に有用な方法論について最近の研究動向を調査し，また各自の修士論文の研究テーマについて討論する． 各自の研究テーマについては，教員と相談の上で決定する．
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況（質問・コメントなどの発言）により総合的に判定する．
コメント	

1. 高分子科学専攻 前期課程

高分子凝集論セミナー

英語表記	Seminar in Macromolecular Assemblies
授業コード	240627
単位数	9
指導教員	佐藤 尚弘 居室 : G609 電話 : 06-6850-5461 Email : tsato[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子凝集論の先端的な研究の基礎的な理解を深めた上で、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文の作成に際しての指導と助言も行う。
履修条件	
講義内容	高分子凝集系の形成論、物性論、形態と相互作用のキャラクタリゼーション方法論等について、最近の研究動向を調査し、また各自の修士論文の研究テーマについて討論する。各自の研究テーマについては、教員と相談の上で決定する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況（質問・コメントなどの発言）により総合的に判定する。
コメント	

高分子集合論セミナー

英語表記	Seminar in Macromolecular Interactions
授業コード	240629
単位数	9
指導教員	四方 俊幸 居室： G608 電話： 06-6850-5538 Email： shikata[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子あるいは低分子化合物が形成する分子集合体の物理化学的性質を主に実験事実を通して理解する。修士論文作成に際しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	界面活性剤ミセルの構造と物性、高分子と界面活性剤分子が形成する新規分子集合体の構造と物性、さらに有機ゲル化剤の形成する超分子ポリマーの構造と物性などについて解説する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究の進展状況から総合的に評価する。
コメント	特になし。

生体高分子X線解析学セミナー

英語表記	Seminar in X-ray Analysis of Biopolymers		
授業コード	240632		
単位数	9		
指導教員	中川 敦史	居室：	プロテオミクス総合研究棟2階
		電話：	06-6879-4313
		Fax：	06-6879-4313
		Email：	atsushi[at]protein.
	鈴木 守	居室：	プロテオミクス総合研究棟3階
		電話：	06-6879-8637
		Email：	mamoru.suzuki[at]protein.
質問受付	随時		
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修		
開講時期	通年		
場所	その他		
目的	X線結晶構造解析法を用いてタンパク質の分子構造を明らかにし、構造と機能の相関について理解を深める。修士論文作成に際しての指導、助言を行う。		
履修条件			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. タンパク質の大量発現・精製法 2. 蛋白質の結晶化と結晶成長条件の探索 3. X線回折実験によるデータ測定と立体構造決定 4. タンパク質の構造機能相関の解析 		
授業計画			
教科書	指定しない		
参考書	指定しない		
成績評価	修士論文の研究を実施する中で総合的に評価する。		
コメント	特になし。		

情報高分子物性論セミナー

英語表記	Seminar in Physical Properties of Informational Polymers
授業コード	240633
単位数	9
指導教員	後藤 祐児 居室： 蛋白質研究所 530 電話： 06-6879-8614 Email： ygoto[at]protein. 高橋 聡 居室： 蛋白質研究所 526 電話： 06-6879-8615 Email： st[at]protein.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	蛋白質は生命現象を支える代表的な高分子である。アミノ酸がペプチド結合によって一次的に重合した蛋白質は、折りたたまれて特異的な立体構造を形成することにより、機能物質としての多様な役割を果す。本講義では、蛋白質の構造、物性、立体構造形成（フォールディング）反応の原理についての基礎的な理解を深めた上、最新の研究状況を理解する。このために、講義、演習、論文調査などを行うと共に、講義内容と関連する具体的な研究について、その進め方や考え方の指導を行う。また、修士論文の作成に際しての指導と助言を行う。
履修条件	
講義内容	1. 蛋白質の立体構造 2. 蛋白質の変性 3. 蛋白質の物性とそれに関わる相互作用 4. 蛋白質の構造安定性の熱力学 5. フォールディング反応の速度論 6. 蛋白質のミスフォールディングと病気 7. 蛋白質の構造と機能の相関 8. 蛋白質のデザイン
授業計画	
教科書	適時指示する。
参考書	適時指示する。
成績評価	研究発表、レポート、出席点等を総合的に評価する。
コメント	

1. 高分子科学専攻 前期課程

高分子科学インタラクティブセミナー

英語表記	Interactive Seminar in Macromolecular Science
授業コード	241012
単位数	2
指導教員	青島 貞人 居室 :
質問受付	
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 2年次 必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心という問題を引き起こしている。特に高分子科学は非常に学際性の強い学問であり、この極度の専門分化は、今度の学問の進展に重大な支障となると考えられる。そこで、本セミナーでは、高分子に関連する合成化学、物理化学、生物化学の3分野から、自身の主たる専門とは異なる分野の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の修士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
履修条件	
講義内容	
授業計画	
教科書	
参考書	
成績評価	
コメント	

2 高分子科学専攻 後期課程

高分子合成化学特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Synthetic Polymer Chemistry
授業コード	240639
単位数	9
指導教員	青島 貞人 居室： G602 電話： 5448 Email： aoshima[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	将来、研究者として独立して進めていけるような、発想法、企画力、技術力、発表法などを一連の研究を通じて身につけさせる。特に、独自の系統的な研究を行えるように指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	具体的課題は教員と相談のうえで決定する。
授業計画	
教科書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
成績評価	日頃の研究、学会発表、作成した論文の内容で評価する。
コメント	特になし。

高分子錯体化学特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Macromolecule-metal Complex Chemistry
授業コード	240640
単位数	9
指導教員	山本 仁 居室：
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	無機および有機金属ポリマーや金属含有たんぱく質等の基礎を学習し、それらの反応機構について理解を深めた上で、具体的な研究の進め方、考え方、分析手法等について指導を行う。博士論文作成に際しての指導、助言を行う。
履修条件	
講義内容	無機および有機金属ポリマー、含金属たんぱく質、ペプチドの基礎 無機および有機金属ポリマー、含金属タンパク質、ペプチドの反応 無機および有機金属ポリマー、含金属ペプチドの設計・合成指針 光反応の基礎と応用 核磁気共鳴法による分析と構造解析
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	課題の理解度、目標の設定と達成度、出席等を総合的に評価する。
コメント	

高分子凝集論特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Macromolecular Assemblies
授業コード	240641
単位数	9
指導教員	佐藤 尚弘 居室： G609 電話： 06-6850-5461 Email： tsato[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子凝集論の先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を計ることを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言も行う。
履修条件	
講義内容	具体的な課題は、教員と相談の上で決定する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況（質問・コメントなどの発言）により総合的に判定する。
コメント	

高分子構造論特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Polymer Structures
授業コード	240642
単位数	9
指導教員	奥山 健二 居室： G702 電話： 06-6850-5455 Email： okuyamak[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子固体構造に関連した先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を計ることを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言も行う。
履修条件	
講義内容	具体的な課題は、教員と相談の上で決定する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況（質問・コメントなどの発言）により総合的に判定する。
コメント	

高分子物性論特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Properties of Macromolecules
授業コード	240644
単位数	9
指導教員	井上 正志 居室：
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子物性論の先端的な研究の指導を通じて、高い基礎的能力と独創的な発想力をもつ研究者の育成を計ることを目的とする。研究成果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言も行う。
履修条件	
講義内容	具体的な課題は、教員と相談の上で決定する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況（質問・コメントなどの発言）により総合的に判定する。
コメント	

超分子科学特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Supramolecular Science
授業コード	240944
単位数	9
指導教員	原田 明 居室： G713 電話： 06-6850-5445 Email： harada[at]chem.sci.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	高分子科学の中で特に高分子特有の性質を利用した機能の発現について先端的な研究の指導を通して、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を計ることを目的としている。研究結果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言を行う。
履修条件	
講義内容	高分子の機能化に関する先端的な研究を行う。分子間での相互作用が多様である高分子の特徴を活かし、特異的な機能の発現とその要因の解析をめざす。特異的な構造を有する超分子の形成やその機能化をテーマとした研究を自主的に実施し、その結果をまとめ報告する方法を指導する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	レポート等を総合的に評価する。
コメント	

情報高分子物性論特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Properties of Informational Polymers
授業コード	240646
単位数	9
指導教員	後藤 祐児 居室： 蛋白質研究所 530 電話： 06-6879-8614 Email： ygoto[at]protein.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	蛋白質は生命現象を支える代表的な情報高分子である。本講義では、蛋白質の構造、物性、立体構造形成（フォールディング）反応、ミスフォールディングの原理などについての先端的な研究の指導を通して、高い基礎学力と広い視野と創造性をもつ研究者を育成する。
履修条件	
講義内容	具体的課題は教員と相談のうえで決定する。 研究成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
授業計画	
教科書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
成績評価	研究発表、レポート、出席点、取り組みの姿勢等を総合的に評価する。
コメント	

情報高分子構造論特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Informational Polymer Structures
授業コード	240647
単位数	9
指導教員	中川 敦史 居室： プロテオミクス総合研究棟2階 電話： 06-6879-4313 Email： atsushi[at]protein.
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	蛋白質、超分子複合体の構造に基づいて生命の理解を深める研究を行う能力を身につける。
履修条件	
講義内容	1. 蛋白質の構造とその働き 2. 膜蛋白質の構造とその働き 3. ウイルスの構造とその働き 4. 超分子複合体の構造と構造形成機構
授業計画	
教科書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
成績評価	博士論文の研究を実施する過程で習熟度を評価する。
コメント	なし。

高分子科学インタラクティブ特別セミナー

英語表記	Interactive Seminar for Advanced Research in Macromolecular Science
授業コード	241037
単位数	2
指導教員	青島 貞人 居室：
質問受付	
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 2年次 必修
開講時期	通年
場所	その他
目的	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心という問題を引き起こしている。特に高分子科学は非常に学際性の強い学問であり、この極度の専門分化は、今度の学問の進展に重大な支障となると考えられる。そこで、本セミナーでは、高分子に関連する合成化学、物理化学、生物化学の3分野から、自身の主たる専門とは異なる分野の研究室が主催するセミナーに参加する。そして、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の博士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受け、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を図ることを目的としている。
履修条件	
講義内容	
授業計画	
教科書	
参考書	
成績評価	
コメント	

3 高分子科学専攻 後期課程 (秋季入学者用)

3. 高分子科学専攻 後期課程 (秋季入学者用)

高分子錯体化学特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Macromolecule-metal Complex Chemistry
授業コード	247029
単位数	9
指導教員	山本 仁 居室： G709 電話： 5449 Fax： 5474 Email： jin@chem.sci.osaka-u.ac.jp
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
目的	高分子錯体の先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を計ることを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言も行う。
履修条件	
講義内容	具体的な課題は、教員と相談の上で決定する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	研究報告ならびにセミナーへの参加状況 (質問・コメントなどの発言) により総合的に判定する。
コメント	

超分子科学特別セミナー

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Supramolecular Science
授業コード	247014
単位数	9
指導教員	原田 明 居室：
質問受付	随時
履修対象	高分子科学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
目的	高分子科学の中で特に高分子特有の性質を利用した機能の発現について先端的な研究の指導を通して、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者の育成を計ることを目的としている。研究結果を博士論文としてまとめる際に、その指導と助言を行う。
履修条件	
講義内容	高分子の機能化に関する先端的な研究を行う。分子間での相互作用が多様である高分子の特徴を活かし、特異的な機能の発現とその要因の解析をめざす。特異的な構造を有する超分子の形成やその機能化をテーマとした研究を自主的に実施し、その結果をまとめ報告する方法を指導する。
授業計画	
教科書	指定しない
参考書	指定しない
成績評価	レポート等を総合的に評価する。
コメント	

3. 高分子科学専攻 後期課程 (秋季入学者用)

発行年月日 平成 20 年 4 月 18 日

発行 大阪大学大学院理学研究科 大学院係

製版 大阪大学大学院理学研究科 大学院教育教務委員会 編集部

この冊子は、KOAN のデータを元に Python と L^AT_EX 2_ε を用いて自動生成しました。
レイアウトは大阪大学コミュニケーションデザイン・センターのシラバスを参考にしました。